



ここでみつけた! 弘前の中のフランス

フランスと関わりのある人たちを紹介していきます。

皆さんが見つけた、弘前にあるフランスに関わりあるものや人を教えてください。
メールアドレス: french@hirosaki-u.ac.jp

弘前街角の小さな「果樹園」

パティスリー ヴェルジェ

patisserie verger

百石町にあるケーキショップ、patisserie verger (パティスリー ヴェルジェ)。ここでは、アップルパイをはじめ、様々な果物をふんだんに使った色とりどりのスイーツがショーケースを彩っています。

“verger”とはフランス語で「果樹園」の意味。オーナーである蟻塚さんにお話を伺ったところ、**果物を使った洋菓子作り**を目指したいという思いが込められているとのこと。

イギリスへの留学時代、スコーンに紅茶という優雅なお茶のスタイルに心惹かれたと言います。さらに調理師を希望していたころ、実習先で見た飴細工に感動し、そこからパティシエを目指したそうです。

今季のオススメはフルーツがすっきり香るジュレ。実はシードル工房kimoriさんとのコラボでシードルジュレも販売しています。**シードルは弘前おなじみの、フランス出身のりんご酒。他にもカラフルなマカロンもあり、ささやかなところでフランスの味が息づいています。**

今後の目標は、イギリスでのお茶の時間のように、vergerをカフェスタイルのお店にすること。「地元フルーツを使ったできたてのスイーツや、ドリンクの美味しさを多くの人に味わってほしい」と語っていました。

蟻塚さんの思いが込められたケーキショップは、**確かに百石町の小さな「果樹園」として弘前の一角を彩っているように感じられました。あなたも一度、来てみては?**

(Sophie 小笠原)



▲ショーケースに並ぶスイーツ

詳しい取材内容は、フランス語ホームページ「フランコフォニー広場」に掲載しています。興味のある方は、ぜひ気軽にアクセスしてみてください。

日本ならではの「おもてなし」

石場旅館

素朴でありながら、日本の「味」が漂う佇まい。ここは弘前公園のすぐ近く、明治時代から続く老舗旅館です。平成20年に弘前市の「趣のある建物」に認定され、その3年後には



▲弘前市の「趣のある建物」に認定されている

国の「登録有形文化財」に指定されるなど、その魅力が認められてきています。

ところで、この旅館はフランスとどういった関係があるのでしょうか? その秘密は、この旅館の4代目オーナー、石場創一郎さんにあります。石場さんは関東の大学に在学していたころ、**先生にフランス語検定を勧められました。もともとフランスの音楽や映画に興味があった**ということもあり、2年生のころに3級を取得。その後も級位を上げていき、**現在は2級を持っている**とのこと。英語検定も持っていて、それらの語学力が、接客時のコミュニケーションにも活かしているのだとか。

というのも、石場旅館さんは、フランスやイギリスといった海外から観光をしに来た人たちに、頻りに利用されているとのこと。旅館自体に日本の伝統性があるということで、以前から海外からの来客が多かったといいます。特に、**桜まつりやねぶたなどの時期は、宿泊者がほとんど外国人になることもある**そうです。

みなさんは「旅館」というものにどんなイメージをお持ちですか? 利用しようと思ったことがない方もいると思います。ですが、海外からの観光者はその魅力を評価しています。それは、そこでしか味わえない、日本の良さを感じられるひと時があるからかもしれませんね。(Philippe 相澤)

のぞいてみよう! フランスの日常生活!

フランスの人たちは、普段どんな生活をしているのでしょうか?
ボルドーからの留学生の方々に協力してもらい、日常生活について聞いてみました!



Q1 朝食はどんなものを食べるの?

A1 主食はフランスパンやクロワッサンなど。パンをココアやコーヒーにつけて食べるのがオススメ!

Q2 学校の制服はあるの?

A2 ない。ただし、胸元が大きく開いた服や短すぎるスカートは禁止。ピアスはOK。

Q3 どのような私服を着るの?

A3 黒や白、グレーなどのシンプルな色の服を着る。色のついた服は着ない。

Q4 弘前に来て感じたフランスとの違いは?

A4 ゴミが落ちていなくて、空気がきれい。また、フランスでは乗り物が時間通りに来ないことと列車を待つときの列が無いことは当たり前だが、弘前では乗り物が時刻通りに来ることと、一列になって待っていることに驚いた。

どうですか? ボルドーの日常生活について少しでも知ることができましたか? みなさんも実際にボルドーに行って、文化の違いを体験してみたいはかがでしょうか。



協力してくださった留学生のみなさん、本当にありがとうございました!

(Liliane 小野 & Clara 浅川)